

国語

注 意

- 1 問題は〔一〕から〔三〕まであります。
- 2 時間は 50 分です。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。
- 4 答えはていねいに記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。

〔一〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

漫画やイラストに出てくる犬にヒゲを描き忘れる人はいるが、猫にヒゲを描き忘れる人はまずいない。どちらにも同じようなヒゲがあるのだが、猫の方が数段リツパでよく目立つ。また、犬をなでるときにヒゲをしごく人はあまりいないが、猫をなでている人を見ると、必ずと言っていいほどヒゲをつまんでしごいている。猫とヒゲとは切っても切れない関係なのだ。ヒゲといっても毛であることには違いがなく、そのしくみは我われの毛と変わりはない。毛は毛嚢という部分に包まれて皮膚に固定されている。毛嚢は水の入った壺みたいなもので、毛はその壺にさしている切り花みたいなものである。

花に触ると茎の根元が動き、壺の中の水が動く。動いた水は壺の内壁から出ている神経に当たる。つまり、花に触れば神経を刺激することになる。だから、私たちの髪の毛や体毛の先に何かがちよっと触れただけでも、ちゃんと感じるわけである。

毛が長ければ、てこのゲンリで小さな力も大きく感じる。しかも毛が硬くてしっかりしている方が、力はセイカクに伝わる。その条件を満たしたのがヒゲだ。触毛といわれる所以である。

猫の場合、口の脇にはえているのが一番長くて太く、ヒゲのダイヒヨウといっている。そのほかには、目の上、頬に二カ所、あごの下にもヒゲがある。ただ、あごの下のヒゲは細くて短く、ふつうの体毛がやや長くなっただけという感じだ。

一番細いあごの下のヒゲを除いて、ほかのヒゲの先端をつなぐと丸い円ができ、その円は猫を真前から見たときの体の大きさと一致するというのが通説だ。狭いところを通るとき、ヒゲをリーダー代わりにして、体がすり抜けられるかどうか測るのだといわれている。「なるほど」と、えらく感心していたのだが、よく考えると何か違うような気がしてならない。

第一の理由は、口ヒゲとほかのヒゲとの機能が違うことだ。口ヒゲは寝かせたり立たせたり上げたり下げたりと、自由に向きを変えられるが、ほかのヒゲは動かせない。それに目の上や頬のヒゲの先を触ると、私たちの顔に何かがぶつかりそうになったときのような瞬きをするが、口ヒゲを触っても目を閉じない。閉じるとしてもやっぱりとした閉じかたで、気持ちが良いときのような閉じかただ。

次に、目の上や頬やあごのヒゲは、一般にヒゲがないと見られているウマやウシなど多くの動物にもある。キリンにもカ
ンガルーにもコアラにもあるのだ。猫特有のヒゲというところ、口ヒゲだけになってしまふ。しかも、その口ヒゲが一番長くて
太い。^③ほかのヒゲとは性格が違うものだと考えたくなつてもくるといふものだ。

ウマやウシのヒゲの先に触つてみたことはないが、目の上や頬のヒゲに触れれば、きっと猫と同じような瞬きをするだろ
うと思う。猫やウシもウマもキリンも、目の上や頬のヒゲは目を守るためのものなのだ。虫や木の枝などが目に触る前に瞼
をつぶるためのレーダーなのだ。そしてあごのヒゲは、たぶん敏感な口のまわりと鼻の穴を守るためのものだ。ウマやウシ
などはみな、上あごにもあごの下と同じようにヒゲがある。

では、猫の口ヒゲと同じヒゲを持つてゐる動物を探してみよう。ネコの仲間やイヌの仲間、アシカ・アザラシの仲間など
の肉食動物と、ネズミやリスなどの^{注5}げっ歯類に多い。イヌの仲間よりもネコの仲間の方がダントツに長いが、げっ歯類はも
っと長くて数も多い。イヌやネコなどの肉食動物は、動くものをジッと見るときやそれを捕まへようとするときに、ヒゲを
前に出す。げっ歯類は移動するときにヒゲを前に出して、バラバラにせわしなげに動かす。

ここからは推論になるが、肉食動物にもある目のまわりやあごのヒゲは、障害物を察知するという受動的なレーダーで、
猫たちの口ヒゲは^④能動的なレーダーだと思うのだ。それぞれの生活に必要な働きをするレーダーというわけだ。

肉食動物は獲物を捕るのが信条だ。口ヒゲは、獲物を捕まえるとき、目が追えない部分をカバーするためのレーダーなの
ではないだろうか。猫の最適焦点深度は二、六メートルといわれている。顔のすぐそばにあるものがよく見えていないこ
とは、^{注7}前にも述べた。ネズミを目の前にしたとき、目だけではネズミの動きにタイオウできないのだ。それを口ヒゲがカバ
ーするのだろう。

ネズミを押さえたネコを想定すると、口ヒゲの長さは、ちょうどネズミの輪郭あたりを触ることになる。狭い所を通り抜
けようとしているとき、猫の口ヒゲはピタとはりついて寝ているもので、通り抜ける場所の間隔を測っているとは思いがた
い。イヌの仲間は、猫のように小手先で獲物を捕ることがないから、口ヒゲもあまり必要なくて貧弱なのだろう。

一方、げっ歯類の多くは、夜に暗くて狭いトンネルをゴソゴソ動き回ったり、木の上をチヨロチヨロ動き回ったりする動

物だ。これらの口ヒゲは、昆虫の触角みたいなものという気がする。前進するときにヒゲをワヤワヤと動かして、いかに
もヒゲで手探りをしているという感じだ。体のわりにヒゲが非常に長いのも、あのチヨコマカぶりをカバーするために、前
方の距離を確保しているのだと思う。

こう考えてくると、「ヒゲを切った猫はネズミを捕らない」という昔からの言い伝えは、まんざら迷信ではないように思
えてくる。まだ猫がネズミ捕りとして飼われていたころには、ヒゲを切った猫はネズミを捕らないとまではいなくても、
捕るのが下手で成績が振るわなかったのではないだろうか。

現代社会の中では確かめるのは難しいが、ヒゲを切った猫が歩き回るのに支障をきたしてはいないことだけは確かだ、や
はりヒゲはネズミに関連した役割があると思える。

「ヒゲを切った猫はネズミを捕るのが下手」、「ヒゲを切ったネズミは、歩くのが下手」なのだ。^⑥もし、ヒゲを切った猫とヒ
ゲを切ったネズミが遭遇したら、^{注8}どういう結果になるのだろうか……。

(加藤由子『雨の日のネコはとことん眠い』)

注1 切り花……飾るために、枝や茎とともに根から切り取られた花。

注2 所以……理由。

注3 通説……世間で普通に言われている説。

注4 レーダー……電波を用いて、相手までの距離や方向を測る機械。

注5 げっ歯類……リスやネズミなど、物をかじるのに適した四角い前歯を持つ哺乳類。

注6 最適焦点深度……特に意識しなくても、自然とはっきり物が見える距離。

注7 前にも述べた……筆者はこの本の別の章で、猫の目が見える範囲について述べている。

注8 遭遇……思いがけず突然に、出会うこと。

問1 〜〜線①〜⑤のカタカナを漢字に直しなさい。

問2 線①「猫とヒゲとは切っても切れない関係なのだ」とありますが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを、次のア〜エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア イラストに描かれる猫には、必ずヒゲが描かれるほど、猫のヒゲは目立つから。

イ 猫のヒゲは、見ていると、ついヒゲをつまんでしごいてしまうほど、かわいいから。

ウ 猫をなでるときにはヒゲをつまんでしごかなければいけないくらい、猫のヒゲは大切だから。

エ 犬や他の動物に比べて、猫のヒゲは一目でわかるほど、長くてつまみやすいから。

問3 線②「よく考えると何か違うような気がしてならない」とありますが、何が「違うような気がしてならない」のですか。最も適当な部分を五十字程度で抜き出し、最初の五字を答えなさい。（、や。もふくみます）

問4 線③「ほかのヒゲとは性格が違うものだ」と考えたくなくてもくるというものだ」とありますが、その理由を「猫の口ヒゲは」に続くように、四十字以内で答えなさい。（、や。もふくみます）

問5 線④「能動的なリーダー」とありますが、「能動的なリーダー」の意味を具体的に説明している一文を、本文中から抜き出し、その文の最初の五字を答えなさい。（、や。もふくみます）

問6 線⑤「ヒゲを切った猫が歩き回るのに支障をきたしてはいないことだけは確か」とありますが、筆者がそのように考える理由として最も適当なものを、次のア〜オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 猫の口ヒゲは自由に動くので、歩き回るための邪魔になることはないから。

イ 猫の口ヒゲは、狭い場所をギリギリで通り抜けるときに、その間隔を測るためのものだから。

ウ 猫はネズミのように、口ヒゲを用いて周辺の状況を察知することができないから。

エ 猫の口ヒゲは、キリンやカンガルーとは違い、顔全体を守るためのものではないから。

オ 猫が口ヒゲを使うのは、獲物を捕るときに目が追えない近距離を察知するためだから。

問7 線⑥「もし、ヒゲを切った猫とヒゲを切ったネズミが遭遇したら、どういう結果になるのだろうか……」とありますが、どのような結果になると予想されますか。三十字以上五十字以内で説明しなさい。（、や。もふくみます）

〔二〕 次の各問いに答えなさい。

問1 次の①～③の文を、例にならって（ ）内に示された内容に合うように、それぞれ最も適当な位置に点（・）を一つ入れなさい。

〔例〕 実くんは泣きながら走っていく花子さんを見送った。

（泣いているのは花子さんである。）

↓ 実くんは、泣きながら走っていく花子さんを見送った。

① 清くんは大急ぎで出かける友人を呼び止めた。

（急いでいるのは清くんである。）

② 私は妹とお父さんが帰ってくるのを楽しみに待っていた。

（楽しみに待っていたのは私と妹である。）

③ 先生は砂でよごれたまま遊んでいる子どもをながめた。

（よごれているのは先生である。）

問2 次の〔A〕〔B〕の①～④の□に入れるのに最も適当な言葉を、ア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。ただし、同じ記号は一度しか使えません。

〔A〕

① □の味を生かした料理ですね。

② 研究のための参考□を集める。

③ チョコレートの□はカカオです。

④ 事件解決の判断□が不足している。

ア 原料

イ 資料

ウ 材料

エ 素材

〔B〕

① 友達からのメールに□する。

② 人の動きに□して、電気が付く。

③ 飛行機が無線での呼びかけに□する。

④ お客さんからの問い合わせに□する。

ア 反応

イ 返信

ウ 回答

エ 応答

問3 次の①～⑤の□にはそれぞれ同じ漢字が入ります。□に入る漢字として最も適当なものを、後のア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

① 以□伝□

② □長□短

③ □人□色

④ □体□命

⑤ □由□在

ア 再 イ 十 ウ 自 エ 一 オ 苦
カ 心 キ 絶 ク 拝 ケ 目 コ 独

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

しほりんと千鶴とレイミーは、中学一年生の「仲良し三人組」。五月のある朝、しほりんが登校すると、レイミーが机にうつぶして泣いていた。生徒会の運営しているウェブサイトに、「ぼくのクラスにはふしぎちゃんがいる、ねずみのぬいぐるみ（名前はシューマイ）と毎日、話をしているそうです」といった内容の書き込みがあったため、女子たちは、犯人を追及するかどうかで言い合っている。しほりんと千鶴は、レイミーにたずねてみた。

「ね、レイミーはどうしたい？」

「先生に言って、犯人、見つけたい？」

ぴくぴくふるえていた背なかで静止した。ゆらりと頭を起こしたレイミーは、涙と鼻水だらけの顔でふたりに言った。

「先生には、言わないで。それより、みんなに言ってほしい」

「なんて？」

「犯人への要求」

「要求？」

「お願い」

涙声でささやかれたその「要求」に、しほりんと千鶴は啞然とした。

「レイミー、本気？」

「正気？ それ、ほんとにみんなに言うの？」

レイミーの意志はかたい。涙の訴えをむげにもできず、しほりんと千鶴は目と目で相談した。どっちが言う？

無言でその大役をゆずりあったあと、さきに折れたのは千鶴だ。

「わかった。わたしが言う」

覚悟をしたように深呼吸をし、千鶴が教室の後ろをふりかえる。日ごろ、人前でものを言うタイプじゃないその声は細くてたよりない。

「みなさん、聞いてください」

事のなりゆきを気にしていた男子たちの視線が千鶴に集中した。

「とくに聞き耳、立ててまーす」

お笑いキャラの心平がおどけ声をあげ、

「ぼくもでーす」

お調子者の蒼太がそれに続く。

「レイミーは、あの書きこみをした人に要求があるそうです」

ポニーテールのえりあしを真っ赤に染めて、千鶴は一気に最後まで言った。

「ぬいぐるみの名前は、シューマイではなくて、シューマッハなのだそうです。ドイツ出身だそうです。だから、あれを書いた人に、今日中に訂正の書きこみをしてほしいそうです。自分はいいけど、シューマッハには謝罪してほしいそうです」

千鶴が伝言を終えたとき、教室にはかつてないほど奇妙な静寂が立ちこめていた。

「ほんまもんふしぎちゃんや……負けた」

心平がつぶやいた。

翌朝。目覚めてすぐにしほりんは居間のパソコンを立ちあげ、生徒会のウェブサイトのをぞいた。思ったとおり、情報交換コーナーに、シューマッハへの謝罪文はなかった。そのせいかどうかはわからないけれど、その朝、一年A組の教室にレイミーの姿はなかった。

「書きこみ、なかったな、やっぱり」

「ま、ねえよな。ふつうに考えて」

「ぬいぐるみにあやまられて言われてもな」

犯人だと女子から決めつけられている男子たちは、この一件を軽く笑い飛ばすことで、いごちの悪さはらっているようでもある。女子も女子で、レイミーに同情しながらも、本気で犯人さがしをするほど深刻にはなれずにいる様子。そうこうしているうちに、授業中、近藤慎也が突然キレて教室を飛び出すという新たな事件が勃発。シューマッハ事件は過去の珍騒動として流されていったのだった。

しかし、クラスのみんなが忘れても、傷ついた本人は忘れない。しほりんの頭からも、きのう、ずっと泣いていたレイミーの姿がはなれなかった。いつも脳天気な彼女が、あんなにしょげているのを見たのは初めてだった。

意外と、ふつうのところもあったんだ……。

中学に入って一ヶ月と少し、いつもいっしょにいたはずなのに、いざレイミーの机が空席になると、そこにすわっていた女の子の④⑤を自分は今にも知らなかった気がする。

「鈴木さんは腹痛ですって。大事をとって休ませますって、お母さんから電話がありました」

藤田先生からそう聞くと、しほりんはますます落ちつきをなくした。

腹痛？ 本当に？ 仮病じゃなくて？

胸がざわめく。授業にも身が入らず、ふと気がつく⑤と、レイミーの空席ばかりをながめている。そんな自分がしほりんにはおどろきでもあった。

レイミーさえないなければ。

あんなに願っていたのに、いざ教室から彼女がいなくなっても、それほど心がうきたたない。むしろ、はみがき粉をつけないで歯をみがいているみたいなの、ものたりなさがつきまとう。千鶴を独占できてうれしくないと言ったらうそになるけれど、ふたりきりになったらなくて、おたがいに沈黙を気にしてからまわりしたり、へんに疲れてしまったりもする。

思えば、レイミーはいつもふたりを笑わせてくれた。「しほりんは？」と問いかけるまんまるの瞳。あれだって、彼女なりに気をつかっていた証拠かもしれない。

このままレイミーが学校に来なくなったら、本当にあたしは不安から解放される？

千鶴とふたりきりの時間がすぎるにつれて、しほりんはそんなふうにも思いはじめた。

そもそも、千鶴とレイミーは、理由もなしに突然、あたしを仲間はずれにするような子たちなの？

考えるほどに、自分がいやになっていく。少なくとも、レイミーは学校を休んでいるいまも、仲間ははずれにされるなんて心配はちっともしていないはず。

そうだ、としほりんは気がついた。あたしを不安にさせる影は、レイミーでも千鶴でもない、あたしが自分でこしらえたものだ――。

小六の教室で真衣や杏から無視されていたころ、しほりんはそこから消えていなくなってしまうかかったけれど、それでも、負けずに留まった。一日も休まずに学校へ通いつづけた。強くなりたいと願って、卒業したときは強くなった気がした。でも、その一方で、べつのところが弱くなっていたのかもしれない。

⑥なにかに勝ったつもりで、なにかに負けていたのかもしれない。

(森絵都『クラスメイツ』)

注1 勃発……事件などが起こること。

注2 脳天気……常識はずれで、ものごとを深く考えないようす。

問1 〰〰〰線 a 〰 e の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

問2 線①「啞然」、②「むげに」の本文中の意味として最も適当なものを、それぞれア～オの中から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

① 「啞然」

- ア 心の底から心配する様子。
- イ 声を出しておどろく様子。
- ウ 意外なことに困った様子。
- エ あきれて声も出ない様子。
- オ とても理解できない様子。

② 「むげに」

- ア 重要だと思っている様子。
- イ 少しも取り合わない様子。
- ウ 心から同情している様子。
- エ 本心に納得している様子。
- オ ほとんど信用しない様子。

問3 線③「ほんまものふしぎちゃんや」とありますが、どのような点が「ふしぎ」に思われるのですか。次の指示に従って五十字以内で答えなさい。(、や。もふくみます)

- i 「レイミーの犯人に対する要求が、」に続けて書き出すこと。
- ii 「……ではなくて、……だったから。」の形にすること。

問4 線④「自分はなににも知らなかった気がする」とありますが、知らなかったのは、どのようなことですか。次のア～オの中から最も適当なものを一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 軽はずみな行動をしがちなレイミーも、ぬいぐるみは本当に大事にしていたということ。
- イ 普段何も考えていないようなレイミーも、心の奥底では悩みを持ち続けていたということ。
- ウ いつも明るくふるまっていたレイミーも、実は傷つきやすい心を持っていたということ。
- エ 自分たちと仲良しのレイミーも、本当はぬいぐるみの方に深い愛情を持っていたということ。
- オ 気分転換がうまいレイミーも、ひどいいじめを受けると立ち直れないということ。

問5 線⑤「ふと気がつくと、レイミーの空席ばかりをながめている。そんな自分がしほりんにはおどろきでもあった」とありますが、どんな自分におどろいたのですか。五十字以内で答えなさい。(、や。もふくみます)

問6 線⑥「なにかに勝ったつもりで、なにかに負けていたのかもしれない」とありますが、(i)「なに」に勝って、(ii)「なに」に負けていたのですか。最も適当なものを、それぞれ次のア～オの中から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- ア 友人に無視されるつらさ。
- イ 自分の友人に対する信頼。
- ウ 自分がいやになっていく状態。
- エ 授業に身が入らない自分の弱さ。
- オ 友人に仲間はずれにされる不安。

解答用紙

得 点

(a)	
(b)	
(c)	

問 3

猫の口ヒゲは

[illegible]

問
6

[illegible]

①	清くんは大急ぎで出かける友人を呼び止めた。
②	私は妹とお父さんが帰ってくるのを楽しみに待っていた。
③	先生は砂でよごれたまま遊んでいる子供をながめた。

B	A
①	①
②	②
③	③
④	④

①	
②	
③	
④	
⑤	

	(e)		(a)
問 2			
		(b)	お
	(1)		
	(2)	(c)	
			めて
		(d)	

①
②

レイミの犯人に対する要求が、

[illegible]

11

[illegible]

i
ii